理論懇ニュース　　１９９６年３号

発行: 理論天文学懇談会事務局　　(茨城大学理学部物理)
電話: ０２９ー２２８ー８３５４　　ファックス: ０２９ー２２８ー８４０７
e-mail: yoshidat@mito.ipc.ibaraki.ac.jp
１９９６年7月１６日

⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕

国立天文台委員推薦のための選挙

国立天文台より理論天文学懇談会に、国立天文台各種委員会の委員の推薦依頼がありました。今回推薦依頼があったのは、運営協議員会 台外委員、総合計画委員会 台外委員、研究交流委員会 台外委員、理論・計算機専門委員会 台外委員です。これまで同様に理論天文学懇談会では選挙によって候補者を決定し推薦を行います。投票規定は以下の通りとします。

1. 運営協議員会 台外委員は３名以下、総合計画委員会 台外委員、研究交流委員会 台外委員、理論・計算機専門委員会 台外委員はそれぞれ２名以下の連記で、同封の投票用紙により郵送で投票を行う。同一人物の名前を複数連記した場合は１票と数える。ただし、各委員に同じ名前がある場合は、これをそれぞれ独立に１票と数える。

2. 運営協議員会 台外委員の候補者は国立天文台外の研究機関に所属する教授、その他の委員会台外委員の候補者は国立天文台外の研究機関に所属する常勤の職にある研究者とする。選挙権は理論天文学懇談会の会員に限るが、被選挙権は会員に限らない。

   理論天文学懇談会で 国立天文台常勤職の方は現在１６名いらっしゃいます。以下の方には、被選挙権はありませんのでご注意ください(敬称略)。また、参考までの別紙に以下の方を除いた会員の名簿を同封致しました。

   安藤裕康、 家 正則 、 犬塚修一郎、 岡本 功、 小笠原隆亮、梶野敏貴、
   桜井 隆、笹尾哲夫、柴田一成、末松芳法、谷川清隆、千葉柾司 、
   中野武宣、福島登志夫、観山正見、吉澤正則

   また、理論天文学懇談会では一人の候補者を３回連続しては推薦しないことを確認しています。

   運営協議会 台外委員に関しては、池内了氏

   が過去２回連続して本会からの推薦を受けていますので、今回同氏は同委員選挙に関しては被選挙権を持たないものと致します。その他の委員に関しては、該当者はいません。

3. 各委員の選挙は独立に集計し、得票の多い方から順位をつけ、それぞれ二名を国立天文台に推薦する。ただし、重複がある場合には理論懇運営委員会の判断で、繰り上げて他の方を推薦することがある。これは同一の人物が国立天文台の委員を複数兼務しないようにするための処置である。

4. 投票は郵送とし、締切を１９９６年8月１２日 (月) 必着とする。郵送先は、〒３１０ 水戸市文京２ー１ー１ 茨城大学理学部物理・理論天文学懇談会事務局(吉田龍生)あてとする。同封の返送用封筒を御利用下さい。

なお、 候補者の推薦をされる方は理論懇ネットをご利用ください。７月２４日 (水) までに、推薦文を`rironkon@diamond.mtk.nao.ac.jp`へ送ってください。
各委員会の役割を簡単に紹介しておきます。

運営協議員会　国立天文台の教授を始めとする人事の決定し、さまざまな共同研究計画に関する事項や天文台の運営に関わる重要事項についての台長の諮問に応じる。

総合計画委員会　長期的展望に立った将来計画の議論、過去の計画遂行の評価。

研究交流委員会　共同利用、研究会の採択、天文台研究員、COE 外国人研究員の人選と決定。

理論・計算機専門委員会　理論天文学研究系の将来計画の検討、計算機・ネットワーク将来計画の立案と検討、計算機共同利用の採択。

国立天文台の規定により、運営協議員会、総合計画委員会、研究交流委員会台外委員の決定は台長が分野・地域性等を考慮して調整することがあります。必ずしも理論懇の推薦だけでは決まらないことをご承知おき下さい。

第１１３回基研研究部員会議報告 (１９９６年７月４ー５日)

(事務局注: この報告は、前回理論懇総会で決まったことを受けて、基研研究部員の高原文郎氏にお願いしてポストしていただいたものです。)

理論懇で、研究部員会議を報告することを求められているので、個人的責任のもとで、報告します。研究部員会議は基研の共同利用に関する決定機関という性格をもっていますので、公式の議事録も作成されています。関心のある方は、比較的容易に手にすることもできると思います。しかし、一般には具体的な問題意識もなしに議事録を読んでも何の益もないことですし、どんなことが議論されているかを紹介し、理論懇会員に基研にもっと関心をもってもらうことは意味があると思いますので、とりあえず、報告を試みて見ます。最初にお断りしておきますが、以下の文章はあくまで私の個人的責任のもとで記すものですので、公式のものではありません。私の誤解も含まれているかもしれません。このような公的性格の会議における決定をどのように公表すべきかという問題については、いつでも微妙な問題がついて回ります。一応、議長団の了解は得てはありますが、もし、このような形で会議の報告を行うことによって、問題が生じるようなことがあれば、やはりこのような形での適切ではないということになりますので、この点を十分お含みおきください。

1. はじめに

   基研の運営についての私なりの理解を述べておきます。共同利用の運営機関としては、運営委員会と研究部員会議があります。前者は主として人事の実質的決定（正規の機関としては別のものがある）や高度に重要な事項を取り扱う。研究部員会議は主として基研研究会の開催の決定、人事については公募分野の決定を行う。運営委員会のメンバーは研究部員をかねることになっている。現在の構成は運営委員２１名、研究部員２４名合計４５名である。内訳は所内１６名（含運営委員９名）、所外２９名（含運営委員１７名）である。理論懇は運営委員２名と研究部員２名を推薦している。会議は７月と１月の年２回行われる。郵便投票により、１年任期の３名の議長団が選ばれ、会議の司会をするとともに、年間を通じて共同利用に対応する必要な仕事をしている。

2. 今回の会議

   (a) 研究計画の決定

      基研研究会は年間総予算約１２００万円程度で公募され、研究部員会議で採否を決定する。今回は９６年度後期分を決定した。今回は合計５件の応募があった。提案者は会議に

出席して説明し質疑応答を行うことになっている。宇宙関係では、「Microlensing とダイクマター」(連絡責任者　中村卓史) が採択された。今後の研究会のあり方についても議論がされた。

(b) 国際交流関係の報告

基研は毎年あるいは隔年で YKIS と呼ばれる国際会議を主催している。そのほか、諸外国の機関とのさまざまの形での交流が行われている。また、多くの外国人研究者の招へいを行っている。進行状況の報告や議論が行われた。

(c) 人事関係

長岡所長は９７年３月に退官する。運営委員会で選考された後任所長候補について提案があり、可否投票の結果了承された (部員会議が投票を行うのは所長人事のみである)。教授人事の分野を物性理論とした。助教授人事の分野については議論の結果「素粒子論または宇宙物理」とした。

(d) 将来計画

大型計算機の導入が認められ、９７年１月から稼働予定である。部門増など、次年度以降の将来計画をどうするかの議論は次回以降の部員会議で本格的に議論する。

3. 基研と理論懇についての私見

天文・宇宙物理のコミュニテイと基研とは歴史的にも深い関係がある。広大理論研との合併の後には、理論懇が独立した選挙母体として認められ、理論懇にもそれにふさわしい積極的活動が求められている。研究計画 (研究会) への応募はある程度はあるが、もっと多くの件数の応募があってもよいのではないか。研究会以外にも、「地域スクール・ゼミ派遣」、「Visitor」という制度があり、各々年間１００万円、７０万円が割り当てられている。この審査は議長団が日常的に処理している。残念ながら、宇宙関係はあまり使っていないようである。また、アトム型研究員という制度もある。

基研は新しい分野を育てるという点に非常に理解のある研究所であり、日本の宇宙物理がここまでくるのに、多くのものを基研に負っている。今後、宇宙物理がその地位を発展させていくためには、理論物理の他のコミュニテイの理解を得ることが必須の条件である。理論懇会員が、研究会を始め、さまざまの制度を積極的に活用することを期待します。

⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕

グループ別世話人のお願い

今回の選挙期間は夏休み中に当たりますので、投票率を上げるために世話人の方の御配慮をお願い致したいと思います。
二年前に複数の会員を擁し、なおかつグループ内相互の連絡が比較的容易そうな研究グループに対し、理論懇への窓口となっていただける方を各一名お願いしてあります (理論懇ニュース１９９４年１号)。その後、世話人が移動されたグループもありますので、新しい方をお願いしたいと思います。本来なら個別にお願いするところですが、今回は時間がないため、事務局の方で以下のように選出致させて頂きました。もし、不都合などございましたら事務局までご連絡ください。また、これ以外のグループで世話人を引き受けても良いという方がいらっしゃいましたら、事務局まで御一報いただけると幸いです。

北大 ·理	羽部氏	弘前大 ·理	葛西氏
東北大 ·天文	服部氏	筑波大 ·理	中本氏
東大 ·天文	茂山氏	東大 ·物理	須藤氏
東大 ·教養	蜂巣氏	天文台 ·三鷹	犬塚氏
天文台 ·水沢	笹尾氏	都立大 ·理	佐々木氏
立教大 ·理	柴崎氏	新潟大 ·教育	富阪氏
名大 ·理	花輪氏	京大 ·物理	山田氏
京大 ·宇物	嶺重氏	京大 ·基研	横山氏
阪大 ·理	柴田氏	広島大 ·理	小嶌氏

会費納入のお願い

１９９６年の会費の振り込みありがとうございました。前回同様、名簿のデータ確認用の紙片に会費の納入状況も記載してありますので、記載ミスがないか確認をお願いいいします。データの見方は前号のニュースをご覧下さい。１９９６年7月１６日までにこちらで納入が確認できた分を記載してあります。もし、未納分がございましたら、前回同封致しました振り込み用紙にてご送金ください。

名簿のデータ最終確認のお願い

データの更新に御協力いただきまして、ありがとうとございます。今回、同封致しましたデータ確認用の紙片は、７月１６日までに事務局に届いた分を更新してあります。皆様の氏名、住所、所属、電話番号、**FAX**番号、**e-mail**アドレスに記載ミスがないか確認をお願いいいします。ご返事なき場合は別紙のまま名簿に掲載させていただきます。異同のある場合は7月末日までに事務局宛御連絡下さい(メールで結構です)。特に**e-mail**アドレスまたは**FAX**番号の欄が空欄になっている方は、よろしくお願い致します。

「日本の理論天文学」の残部について

「日本の理論天文学」の残部が約４０部ございます。御希望の方は、必要な部数を事務局までご連絡ください。

新入会員 ·退会者(敬称略)

新入会員 内藤統也、 住吉光介、 三浦彰、親松和浩、 藤田裕、宮畑恵子、 広谷幸一、浅田秀樹

退会者 寺沢信雄、藤原義久、佐場野裕、福本淳司

連絡不通者 山城稔暢、安富充